



長野県民生児童委員だより

つなぐ

Vol.157

2025 Winter

令和7年1月1日

発行人 長野県民生委員児童委員
協議会連合会

会長 松嶋 隆徳

編集人 広報委員会

委員長 荒深 たつ子

T380-0936

長野市大字中御所字岡田98番地1
(長野県社会福祉協議会内)

特集
活動紹介

買い物しながら 交流を楽しむ「買い物市場」

Contents

- ◆ 新年のごあいさつ
阿部守一長野県知事、松嶋隆徳会長 2
- ◆ 特集：活動紹介
買い物しながら交流を楽しむ「買い物市場」..... 3~5
- ◆ 民児協訪問
小諸市西部地区民生・児童委員協議会 6
栄村民生委員児童委員協議会 7
- ◆ 被表彰者ご紹介 8

令和7年(2025) 新年のごあいさつ



長野県知事
阿部 守一

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
民生委員・児童委員の皆様におかれましては、日頃より地域福祉の中心的役割を担っていただいていることに心より感謝申し上げます。

令和7年は、大きな社会構造の変化を
見るい未来に向けた変革への好機と捉え、
引き続き「対話と共創」を重視して、次
のような視点で県政を進めてまいります。
一人ひとりの生き方や価値観が尊重さ



員会
委協議
生協長
民員会
県委会
野童会
長児連
連合
松嶋 隆徳

明けましておめでとうございます。
謹んで新春のお慶びを申し上げます。
さて、今期も余すところ1年を切り各
地区民児協におかれては、運営・活動な
どの見直しなど、まとめの段階に入れら
れることと推察いたします。

ことどもまなか社会の実現を目指して
「こども家庭庁」が創設され改正児童福
祉法により各市町村に「こども家庭セン

れる「寛容な社会」をつくっていくこと
により、若者の社会参画を応援し、男女
が平等で、「共育で」も当たり前の社会
の実現を目指します。

二 楽(ら)くま(ま)ち(ち)の(の)等(とう)生(せい)活(か)圏(けん)の(の)整(せい)備(び)

人口減少期には、分散から集住への転
換や社会インフラの最適化を進め、災害
が激甚化、多発化する中では、より安全
性の高い地域に都市機能を集積させるこ
とも必要です。こうした視点を踏まえ、
楽しいまちや便利な交通をもあわせて実
現できるよう、県土のグランドデザイン
の策定に取り組んでまいります。

三 生(せい)産(さん)性(せい)向(きやう)上(じやう)の(の)た(た)め(め)の(の)経(けい)営(えい)革(かく)新(しん)支(し)援(えん)

労働力が減少し、消費者も減少してい
くこれからの時代にあっては、付加価値

ター(子どもや子育て世帯、妊婦を対
象に医療・福祉・保育・教育などの多
面から継続して一体的に支援を行う機
関)の設置が努力義務化で進んでいます。
私たち民生委員・児童委員はこの関係機
関と密接に連携し、地域の実状を把握し
子育て家庭が安心して暮らせる地域づく
りに取り組みましょ。

児童委員制度創設70年を越え、主任児
童委員制度30周年を迎え両委員との活動
や連携の状況に関して、見直しが求めら
れ全国民児連において活動状況把握の検
討会が開かれています。また、県民児連
では、児童委員・主任児童委員の活動の
参考となるハンドブックの作成が進めら

労働生産性を向上させることに最大限注
力することが必要です。

製造業のみならず、医療・福祉の分野
なども含めて、DXやリスキリング、経
営基盤の強化や輸出の促進などを徹底的
に支援します。

四 日(にっ)本(ぽん)の(の)学(がく)び(び)の(の)新(しん)し(し)よ(よ)モ(も)デ(で)ル(る)ト(と)ハ(は)ク(く)ト(と)

子どもたちのやりたいことを支え、教
員のチャレンジを支える、日本の学びの
新しいモデルを信州から創るとの決意を
教育長と表明しました。市町村や教職員、
保護者や地域の皆様と目指す方向性を共
有し、学びの改革に取り組んでまいります。

五 待(まち)た(た)な(な)し(し)の(の)脱(だつ)炭(たん)素(そ)政(せい)策(さく)の(の)加(か)速(そく)化(か)

2024年の世界の平均気温は年間を
通じて観測史上最高となり、パリ協定の
目標を突破することがほぼ確実になった

れています。

今日、深刻な少子化や高齢化が進み長
期にわたるコロナ禍も影響し人間関係の
希薄化に拍車がかかり、世帯の孤立・孤
独化が進んでいます。高齢者が増加する
中、ひとり暮らし高齢者が増加していま
す。2050年には、県の試算によりま
すと、3世帯に1世帯以上がひとり暮らし
世帯になるとされています。昨年4月
に「孤独・孤立対策推進法」が施行され
ました。私たち民生委員・児童委員は、
孤立・孤独になりがちな世帯への声がけ
や見守り、安否確認を行うことが期待さ
れています。

今、民生委員・児童委員の活動負担軽

とされています。脱炭素政策の推進は
待ったなしであり、長野県ゼロカーボン
戦略の様々な取組を加速してまいります。

六 命(いのち)を(を)守(まも)る(る)地(ち)震(しん)防(ぼう)災(さい)対(たい)策(さく)の(の)強(きやう)化(か)

能登半島地震の教訓を踏まえ、長野県
地震防災対策強化アクションプランを策
定しました。市町村等と協力して、災害
に強い県土づくりや避難所環境の整備、
孤立集落への対策などに全力で取り組ん
でまいります。

今年には戦後80年を迎えます。平和の尊
さを改めて胸に刻み、ゆたかな長野県つ
くりを全力を尽くし、未来への希望を育
んでまいります。皆様の御健康と御多幸
を心よりお祈り申し上げます、新年の御挨拶
といたします。

減が課題として検討され、軽減の一環と
して生活福祉資金運用の一部改正、証明
事務の改善が図られています。各地区民
児協においても運営上の見直しを図り負
担軽減につなげましょ。

近年、地域には様々な複雑化複合化し
た福祉課題があります。誰もが住み慣れ
た地域で安心して暮らせる地域づくりの
ため、声がけ、見守り、身近な相談者と
して対応し、つなぎ役として努めてまい
りましょ。

結びに、皆様のご健勝とご多幸、ご活
躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とい
たします。

買い物しながら 交流を楽しむ「買い物市場」



来場者で大賑わい

買い物弱者問題に一石。千曲市八幡地区民生児童委員の発案から始まった「買い物市場」が大盛況で拡大中です。10月24日に行われた同北堀地区での買い物市場取材しました。

豆腐屋のラッパを合図 にスタート

午前10時半。プオープオー。千曲市八幡地区の北堀第2公民館前から、豆腐屋のラッパが高々と響き渡りました。同時に、待ち構えていた地域の高齢者がどっと公民館内へ。玄関で出迎えるのは民生児童委員有志と社協職員、それに市の職員も。段差や足元を気にかける誘導します。「買い物市場」の始まりです。

室内には、パン、おやき、豆腐などの食べ物を中心に衣類や小物の店が並んでいます。一周して目当ての品物を買って帰る人もいますが、庭に用意したテーブルと椅子で自由におしゃべりをする人も。傍らではヤキトリのキッチンカーが香ばしい匂いを放ち、イベント気分を盛り上げています。訪れた人だけでなく、スタッフを含めた皆さんの満足そうな笑顔が印象的です。

きっかけは八幡地区民生 児童委員協議会での発言

「買い物市場」誕生のきっかけは、峯地区担当の民生児童委員・唐木田恵実子さんの「買い物に行

けない人たちをどう支援したらいいか」という困り事でした。地名の通り山のとっぺんに位置する峯地区には商店がない上、かつてあった移動販売車もなくなっていました。コロナ禍で外に出にくい状況が拍車をかけ、買い物弱者問題が浮上していました。令和3年4月の民児協定例会でのことです。

この定例会に、当時社協職員として出席していた高橋哲さんがさっそく反応。市高齢福祉課に所属する「生活支援コーディネーター」も加わり、方策を考えることになりました。その後、経緯を知る高橋さんが生活支援コーディネーターを兼ねるようになり、機動力がアップして今日につながっています。



▲味噌やおやきなど年配者に大人気



▲パンやお菓子、小物や洋服も



▲近くの老人施設から来訪者と話す民生児童委員の唐木田さん



▲焼き鳥屋台には行列ができます

峯地区での実施に
予想以上の来訪者が！

買い物弱者に対する取り組みをどうするか。例えばデジタル技術を活用した注文方法などもありますが「求められているのは単にモノを入手できる場ではなく、対面でやり取りできて、交流の場にもなる場」と考えた唐木田さんは、高橋さんらと一緒にニーズの聞き取り調査をします。「ヤキトリがあるといい」「すぐ食べられるもの」「衣類も」と、出された意見を参考に、まずは峯地区で試験的に実施してみることになります。

区長の許可を得て会場は公民館に。社協のデイサービスのイベン



▲衣料品は実用的で評判でした



▲滝沢豆腐店（左がラッパを吹いて開店を知らせてくれた店主）



▲ヤクルトは年配者に根強い人気

トに出店する業者に協力を打診したところ、ほとんどから賛同を得ることができました。10月には回覧板にお知らせを入れ、見守り訪問時に声をかけるなどで周知。11月5日の本番当日は40人以上の来訪者が。「地域の高齢者がほとんど来たみたい」「皆さんの笑顔が嬉しかった」と唐木田さん。予想以上の盛況で、方向性は間違っていないかったとの自信になりました。



▲入口の一角は交流コーナー



▲民生委員にとってみんなの様子を確認できる機会にも

会場となる公民館の建物は地区によって大きく異なります。買い物市場にふさわしい大部屋が2階にあると高齢者が行きにくい。一方で最新の冷暖房完備の平屋。200人も収容できるという好条件も北堀地区の場合は第1公民館の広間が2階だったこともあり、平屋の第2公民館にしたのですが、部屋が一つしかないため交流用のスペースがありません。そこで庭にテーブルと椅子を設置して交流スペースを工夫しました。バリアフリーになっていない箇所ではスタップが丁寧に介添します。

実情に合わせた柔軟な
対応で持続的な事業に

出店業者の事情も色々です。販売を自ら行う業者もあれば、人気のおやきやおにぎりなど、品物は届けてくれるものの、販売のための人員は送れないという場合は、スタップがわか販売員に。また、品物を買取りして販売というケースもあります。

民生児童委員はスタップとして参加しますが、無理のないよう任意です。この日の助っ人は10人。担当地区だからという人もいれば、すべての会場で手伝っているという人も。来訪者の波が一段落するとスタップも買い物を楽しみながら交流できるメリットもあります。

そしてこの日は、意外なお客さんもありました。保育園の遠足中



「お出かけバス」を開催

11月26日、八幡お助け隊と生活支援整備事業の共催で、上田市の生島足島神社と青木村の道の駅まで「お出かけバス」を走らせました。希望者数約40名バス2台に。仲良しのご近所さんと一緒に食事や買い物、また久しぶりの再会もあり大盛り上がり。「またぜひやってね～」と大喜びでした。(報告/唐木田さん)

民生児童委員の困り事が発端で千曲市に広がっている買い物市場。唐木田さんたちは、積み重ねたノウハウとネットワークを活かして「八幡お助け隊」を結成し、バス旅行を企画、実行し、こちらも好評とのこと。民生児童委員の主体的な活動範囲も広がっているようです。

だった園児たちが賑わいに興味を持って立ち止まり、ちよつとした交流が生まれたのです。また、付近にあるグループホームから、散歩がてらにまわって訪れる人たちも。

民生児童委員、社協、行政、民間の連携があつてこそ

— 買い物市場を支える人々 —

買い物市場は多くのスタッフに支えられて実現できています。ポイントは民生児童委員、社協、行政、それに民間業者が信頼関係で連携していること。その中から、北堀第2公民館会場で、次の方々にうかがいました。

唐木田恵実子さん：八幡地区民生児童委員協議会会長で買い物市場の発案者の一人
これまでのノウハウを共有しながら中心になって活動。買い物市場のために重ねた会議をきっかけに「八幡お助け隊」を結成。「自分たちの企画が社協、市との連携で実現するのがとても楽しい」

高橋哲さん：社協職員かつ生活支援コーディネーター
企画段階から中心で活動。「地区のニーズがあれば千曲市全体に広がってほしい」「商店の多い上山田地区以外は需要がありそうです」

吉川貴志さん：市高齢福祉課高齢者係
高齢者のニーズにあった生活をサポートするため社協職員と一般公募の人に委嘱する「生活支援コーディネーター」事業を担当。「買い物市場は市から社協への委託事業なので全体をみる立場」「皆さんの集まる場になっているのが素晴らしいと思います」

臼井栄子さん：社協職員かつ生活支援コーディネーター
「毎回開催前に公民館の近隣を回ってヤキトリの匂いがすることや、騒がしくなることをお知らせするのがちょっと大変なんですけど、参加者からの『またやって』の声に励まされています」出店業者の開拓も担当。

諏訪正子さん：北堀地区担当民生児童委員
「北堀には第1、第2と、公民館が2つありますが、荷物の搬入のしやすい第2を会場にしました。もっと広い駐車場があるといいのですが」「老人会がなくなってしまったので、それに代わる交流の機会としていいと思います」

永田静恵さん：八幡地区主任民生児童委員
「これまですべての会場に行って手伝っています。今日も家族に送迎を頼んで来ました。地元の人たちの笑顔を見るのが楽しみです」「エプロンを忘れたので会場で買いました！」

毎回出店の滝沢豆腐店：屋代で営む豆腐製造業の3代目
販売もしてみたいと考えていたところに、ボランティア活動を通じて縁のあった社協から声がかかったとのこと。「対面でお客さんと直接話しながらの販売こそが販売の基本。『美味しい』と言ってもらえるとやりがいを感じます。スタッフの方々も買ってくださいます」買い物市場開店の合図は、この滝沢豆腐店のラッパです。



▲八幡地区民生児童委員の皆さん



▲千曲市の生活支援コーディネーターの皆さん、地区担当と、市、社協に配置されています。(前列右が高橋哲さん)



▲出店者と民生児童委員、市社協、市と協働で!



小諸市西部地区民生・児童委員協議会

地域の他活動との両立を实践した夜の定例会

小諸市の象徴・懐古園を有し、武家屋敷が多かった古城地区、旧北国街道沿いの宿場町でかつての御本陣所在の市町地区、それに続くものの宅地化も進んだ新町地区、住宅地中心の両神地区と富士見平地区という個性ある5地区から成っています。小諸駅に隣接しながら、全体に起伏に富んだ地形も特徴です。

定例会は午後6時半からの約2時間。「昼間は他の役員会と重なるから」と岡田耕一会長。民生児童委員1期目で会長になり、現在2期目。そして「私以外は全員1期目です」。西部地区ならではの活動をうかがうと、さっぱり「ありません」。

小諸市では全8地区の会長と福祉教育関係課の行政職員からなる「小諸市民生・児童委員協議会理事会」を毎月開催し、年間の活動計画などもここで決定するほか「高齢者福祉部会」「児童福祉部会」「広報部会」「主任児童委員連絡会」も全市横断的に行われるため、地区単位の活動というよりは、全地区共有が中心になるからです。そのため定例会も、まずは理事会と部会での内容報告から始まります。このような小諸方式について岡田会長は「誰でも務まりやすく、民生児童委員経験者を地域に増やす点で合理的」と捉えています。

一方で後半は、例えば会長が用意した不登校増加についての新聞記事をめぐって自由な話し合いなど、一気に和気あいあい



▲地元出身者が多く和気あいあいの総勢10人。前列中央が岡田会長。

の雰囲気となります。登校時の見守りや学校行事への参加のほか、育成会を通じて子ども達と知り合う方法など、具体的な提案も出ていました。

一部小・中学校の再編計画が行中の小諸市。新しい学校は西部地区に予定されていますが廃校舎も出ることに。今年の研修旅行は廃校舎を活用した新潟県の事例をいくつも見学しました。地域の課題等に気負わずに取り組める空気を大切にしながら持続可能な活動へ。そんな姿勢がうかがわれました。



▲新潟研修での廃校利用「鉢&田島征三 絵本と木の実の美術館」見学の様子。



表紙写真紹介

冬の飯縄山(飯綱山)、戸隠山、黒姫山(斑尾山より望む)



表紙写真募集!!

表紙を作品発表の場、地域の紹介の場にと考えています。日ごろ写真を趣味にしている民生児童委員の方々の地域の風景やお祭などの風物詩を撮った写真を募集します。

デジカメ等で撮った作品の電子データをCDRに入れて、撮影者のプロフィール、写真の内容に関する説明を添えて県事務局までお送りください。詳細は県事務局(026-225-1613)まで。

栄村民生委員児童委員協議会

災害以降の人口減少の中で、 人との絆を大事につなぐ活動を

「栄村では孤独死はない」と話すのは、会長の廣瀬幸利さん。小さな変化にすぐ気づけるご近所の関係性が続いています。

県の最北端に位置し92%が山林の栄村。かつては林業が盛んでしたが、今は農業や観光が中心です。2011年3月12日、長野県北部地震を経験しました。2000人強だった人口が、現在は1500人足らずに。人口流出に拍車がかかり高齢化率が



▲栄村全体を11人の民生児童委員と1人の主任児童委員がつないでいます。前列真ん中が廣瀬幸利会長。

55%を超えました。

豪雪地帯で、冬に出稼ぎをするなど厳しい暮らしを味わってきた高齢者たち。子どもたちは戻らず、必然的に女性の一人暮らしなど高齢世帯が目立ちます。11人の民生児童委員と主任児童委員が1人で、半数が1期目で60歳代が中心。

特徴として村や社協とうまく連携できていること。「定例会では、できるだけみんなが感じていることを話せる雰囲気を作りたい」と廣瀬会長。月一回の定例会には、村役場の関係課、社協、保健師ら専門家も出席。課題を報告するとその場で対応が進み、関係機関の動きは次の定例会で共有されるという循環が取れています。

廣瀬会長は3期目で会長としては2期目。中学卒業後、村を出て会社員として県下各地で働き56歳で村に戻りました。「40年前に比べ、周りに子どもがほとんどいない。親の世代が高齢者となり、その変貌ぶりに愕然とした」とのこと。程なく民生児童



▲向かって左側の列が関係機関の皆さん。その場で課題共有をして対策を考え進めます。

委員となり訪問を開始。「お年寄りには体調を隠すことも多い。1週間人と話していない人もいる」と2期目でようやく様子がわかり、肩の力が抜けたといいます。

「コロナ禍で中断していた野沢温泉村・木島平村、山ノ内町との4町村交流会が4年ぶりにこの秋開催されました。知ることで日頃の活動のヒントとなり閉塞感も解消され、その効果を感じています。

課題としては、子どもの支援や移住者の受け入れ体制に不安があること。「アンテナを高くしキャッチしてつなぐこと。そして人と人とのつながりを大事にした」と結びました。

「民児協訪問」が動画になりました!

アナタの民児協を訪問し、スマホで動画に収めて編集、県民児連のホームページでご紹介します!

栄村民生委員児童委員協議会



小諸市西部地区民生・児童委員協議会



※ 紹介動画は、スマートフォンによる上記のQRコードの読み取りのほか、長野県民児連ホームページ(<https://www.nsyakyo.or.jp/minjiren/>民児協の活動状況/)からも視聴可能です。

